

記事詳細

[記事一覧に戻る](#)

キッズ未来フェスタに出展 (2015/08/12 4面)

建機試乗に長蛇の列 / 建協



県建設業協会(川畑俊彦会長)は8、9日、鹿児島市のイオンモール鹿児島で開かれた「キッズ未来フェスタ」に出展ブースを設け、建設重機の試乗体験や砂防ダム教室を通して建設業の果たす役割をアピールした＝写真＝。

同フェスタは、小学生以下の子供たちを対象に、ネイリストやアナウンサー、カメラマンなどさまざまな体験プログラムを用意。屋外の駐車場では自由参加プログラムとして建設重機をはじめ、パトカーや白バイ、消防車・赤バイ、レッカー車などの試乗・写真撮影会が行われた。

同協会では、人材育成対策室がメインとなって陣頭指揮。重機のオペレーターや砂防ダム教室などは県建設業青年部会の鹿児島支部、谷山支部、日置支部の会員らが協力した。

会場内には、夏休みでさまざまなイベントが開催されていることもあって多くの家族連れが来場。バックホウや高所作業車(ホイール式垂直昇降タイプ)には長蛇の列ができ、子供たちは代わる代わる昇降し、親は写真撮影に追われていた。

また、建設業が社会に果たしている役割をPRしようと昨年製作した模型を使った砂防ダム教室では、子供たちはダムがある場合とない場合での被害の違いを体験した。

[更新:2015/08/12 No:681453]